

「環境の世紀」といわれる21世紀を迎え、環境負荷の少ない循環型社会へ移行していく中にあっては、環境と調和した企業活動を主体的に展開していくことが肝要となります。

当社は、1890年の創業以来、パイプシステム・素形材・機械・環境施設・住宅機材など、幅広い分野で人々の生活や社会基盤の整備に関わる事業を展開してまいりました。その間「人と環境の共生」をコンセプトに企業活動を推進し、地球環境保全に関する数々の技術とノウハウを蓄積してまいりましたが、21世紀においても当社の果たすべき社会的役割は、ますます重要になってくるものと考えております。

地球環境問題については、環境経営の基本方向として、「環境調和製品とサービスの提供」、「ゼロ・エミッション化」、「省エネ・省資源」、「地域環境・作業環境保全」、「環境管理力向上」を掲げ、それぞれ中期的な課題を定めて積極的に取り組んでまいりました。昨年度末までに全事業所でISO14001認証を取得いたしました。これからはこの環境マネジメントシステムをベースに、環境管理の一層の徹底とレベルアップを図ってまいります。またリサイクルが容易な製品など環境に配慮した製品を開発、提供することによって循環型社会の構築に貢献していきたいと考えております。さらにこうした取り組みを、関連会社を含めたクボタグループ全体に拡大し、強力に推進してまいりたいと念じております。

今般、環境問題への基本理念と行動指針を示した「クボタ地球環境憲章」(1992年制定)をクボタグループ全体の憲章として改訂すると共に、2005年度までに取り組むべき中期の課題を具体的に定めた「クボタ環境自主行動計画」を策定いたしました。今後は本計画を着実に実行することによって、地球環境問題へのさらなる取り組みに注力してまいりたいと存じております。

このたび、昨年度に引き続き、当社の2000年度の環境保全活動などを「環境報告書2001」として取りまとめました。皆様方の忌憚のないご意見を賜れば幸いです。

環境調和創造企業をめざして



株式会社クボタ 代表取締役社長

土橋 芳邦